

【市議会最前線】市民の声を市政に届ける「市民との意見交換会」＝新居浜市議会（愛媛県）

24/12/02 08:00 Ln001

新居浜市議会では市民の意見を市政に反映させることを目的に、平成25年度から市民との意見交換会を開催しています。

開始当初は市政や各委員会の審議状況などを説明後、意見や要望を聴取する形で実施していましたが、参加者の固定化や市長部局が実施する地区別のまちづくり懇談会との差別化が難しいことなどもあり、平成28年度からは常任委員会ごとにテーマを決め、各種団体等と意見を交換する分野別開催とし、フォーラム形式で実施してきました。

令和4年度で開催10回目を迎えたことから、令和5年度の開催方法について協議した結果、各常任委員会が各種団体に出向き意見交換を行うこと、対象となる団体、開催場所、日時、テーマ等は各常任委員会において決定するなどの開催方針が決まり、令和6年1月から2月にかけて3つの常任委員会が開催会を実施しました。

企画教育委員会では、「帰りたいまち、住みたいまちにいはま」をテーマに県立新居浜東高等学校の生徒と意見交換を行いました。帰りたいまちとはどんなまちなのか、新居浜市には何が足りないのかを事前にアンケート調査し、その結果を基に話し合いを行いました。

市民福祉委員会では、市民と議員が一緒になって課題を抽出し、ともに政策を考え、実現していく方法として、新たな対話の形「にいはま共創ミーティング」を企画。政策テーマ「こどもを育てやすいまちづくり」を設定し、小児・産科の医療従事者や子育て支援関係などの事業者と議員で構成するチームを3班に分け、新居浜市の財政状況を鑑みながら、ワークショップ形式で実現可能な政策を共に考えました。

経済建設委員会では、新居浜市と建設業界が力を合わせてよりよいまちづくりを行うために、地元建設業協同組合と「持続可能なまちづくり」をテーマとして、災害に対する取り組みや、業界の抱える課題、市への要望、新居浜市の未来像等について意見交換を行いました。



思いが込められた提言書を市長へ



盛り上がりを見せた意見交換会

意見交換会当日は活発な議論が行われ、参加者からも数多くの意見が出されました。出された意見を各常任委員会で整理したのち、市議会として「市政に関する提言書」として取りまとめ、市長に提出しました。

令和6年度は令和5年度と同様の方針で行うこととし、令和7年1月の開催に向けて、各常任委員会でテーマや団体の検討を行っています。今後も市民に身近で開かれた議会を目指し、市民との意見交換会を実施していきます。(了)

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。